

みどり森の自然と 昔の里山のくらし

今回の特集は、みどり森で見られる自然のトピックスと、この季節に合わせて、ひと昔前（昭和30年代）まで見られた、この地域の人々の営みをご紹介します。みどり森の自然を楽しみながら、昔の人々の生活に思いをはせてみてはいかがでしょうか？

秋から初冬編

実りの秋

たくさんのいろいろな木の実がなります

クヌギ・コナラのどんぐりやミズキ・エノキ・クサギ・ゴンズイなどの実がなり、動物たちの大事な食料になります。

バックナンバー
ニュースレター No.03
「みどり森の木の実図鑑」

まだ虫の声も聞こえるかも？

みどり森で見られる
いろいろな生きもの情報

ジョウビタキ・アオジ・シメ・シロハラなどが見られます。木の上の鳴き声や地上でゴソゴソうごく音に、耳をすませてみてね。

バックナンバー
ニュースレター No.12, 19
「冬鳥がやってきた！ Part 1,2」

冬鳥の到来

越冬のため北の国から鳥たちがわたってきます

秋に羽化する大型のガ、ウスタビガ・クスサンや、あえて寒い時期に活動するフユシャクガの仲間など、興味深いくらしをする虫が見られます。よく探せば、色々な場所にかくれて越冬している虫もいますよ。

バックナンバー
ニュースレター No.20
「冬の虫たち」

秋・冬の虫

この時期を選んで大人になり、次の世代をのこす虫たちもいるよ

色づく葉

紅葉・黄葉色づいた葉がどんどん落ちていきます

ヤマウルシ・ヤマザクラの赤、アカメガシワ・ウワミズザクラの黄、クヌギ・コナラの黄色や茶色など、様々な葉色を見ることができます。

バックナンバー
ニュースレター No.15
「みどり森で楽しむ紅葉」

氷

水鳥の池も時々凍ってしまうほどの寒さがやってきます

10月

昭和30年代までの
みどり森周辺里山のくらし

サツマイモ収穫

収穫したイモは、地中にほった穴（芋穴）に貯蔵しました。

麦まき

翌年6月に収穫をする麦をまきます。入間・所沢の農家の多くは、麦とサツマイモを夏冬交互に育てました。早い時期に葉が色づく、ケヤキの黄葉がまき時の目安とされました。

11月

下草刈り

落ち葉はきがしやすいように下草を刈りました。刈草はバヤ・ポヤとよばれ燃料につかわれました。

わら仕事・ぬい仕事

冬は縄ないや野良着づくりなど生活に必要なものをつくる大切な時期でもありました。

麦ふみ

霜によってうきあがってしまった根をおさえ根ばりをよくし、春の分けつをうながします。

12月

落ち葉はき

あつめた落ち葉は田畑の堆肥やサツマイモの苗床（サツマ床）につかう貴重な資源になりました。

家族でお正月準備をすませて新年を迎えます

ひと昔前までの人々の営みは、今では見かけなくなってきましたが、当時は、春から始まる農作業のための重要な作業でした。みどり森では、そんな失われつつある作業の体験をイベントとして実施しています。興味のある方はぜひ、ご参加ください。

参考文献：
入間市史 民俗・文化財編（入間市）
今に伝える農家のモノ・人の生活館（柏書房）
雑木林をつくる（百水社）

イベント情報 (10月~12月)

電話 (04-2934-4396) で博物館までご連絡ください。また、公式ホームページからもお申し込みできます。

◆大人キャンプ ~秋の里山でのんびりキャンプ~

みどり森初企画！大人のため里山の自然を楽しむキャンプイベントです。キャンプをやったことの無い方も大歓迎！

日時：10月29日(土)10:00~30日(日)11:00
対象：20~40代
定員：20名(10/14締切・先着順)※寝袋持参
参加費：12000円(保険代・材料費) 学生：10000円

◆みどり森 里山ようちえん

幼児期に親子で里山の自然と触れ合い、野外で遊ぶ事を目的とした、自然体験型の森のようちえんです。発育段階に合わせて、2つの組に分けて実施しています。

定員：各20名(先着順)
参加費：親子2名で1000円(保険代・材料費・おやつ代)
※1名追加ごとに500円

【オタマ組】

日時：12月14日(水)10:00~13:30(11/14受付開始)
対象：2016年4月1日の時点で満2~3歳の未就学児と保護者

【カエル組】

日時：12月17日(土)10:00~13:30(11/17受付開始)
対象：2016年4月1日の時点で満4~5歳の未就学児と保護者

◆里山体験教室 ~落ち葉はき&ごぼうびの焼きイモ作り体験~

昔から行われてきた、里山の雑木林管理作業を体験する教室です。落ち葉した雑木林で落ち葉はきをしましょう。焼きイモもお楽しみに！

日時：12月18日(日)10:00~12:30
対象：小学生以上(小学生は保護者と参加)
定員：20名(11/18受付開始・先着順)
参加費：300円(保険代・材料費)

◆里山文化講座 「お正月のしめ縄をつくろう」

昔ながらのお正月準備のひとつ「しめ縄」を作りながら、由来等も楽しく学べるイベントです。新年を手作りのしめ縄で迎えてみませんか？

日時：12月24日(土)10:00~12:30
対象：小学生以上(小学生は保護者と参加)
参加費：500円(保険代・材料代)
定員：20名(11/24受付開始・先着順)

◆年末年始休館日のお知らせ◆

2016年12月29日~2017年1月3日まで案内所は年末年始休館日です。(園内は散策できます。)よろしくお祈りします。

◎10月~12月までのガイドウォーク実施予定◎

実施日：
10月15日(土)13:00~14:00
11月14日(月)13:00~14:00『埼玉県民の日』特別開催
12月11日(日)11:00~12:00
※実施時間にご注意ください。
参加費：無料 受付：当日、案内所窓口にて

★みどり森ガイドウォーク実施中！

上記イベントの他、右記日程で当日募集型のガイドウォークを実施中(定員15名、年齢制限なし)案内所や大谷戸湿地周辺をご案内します。内容は毎回変わりますので、どんなテーマかは当日までのお楽しみ！

博物館の利用案内

◆緑の森博物館の利用ルール◆

緑の森博物館では、以下の7つのルールを守って楽しく過ごしていただくようお願いしています。

- 1) 植物や野鳥、小動物、昆虫等の生きものをむやみにとったり、傷つけたりしないでください。
- 2) 他から持ち込んだ動植物(外来種)を放さないでください。
- 3) 原則として広場や観察路以外の場所に入らないでください。
- 4) 犬などのペットを放さないでください。(フンの後始末もしっかりと行いましょう)
- 5) 車道以外の場所には、自転車やバイクで入らないでください。
- 6) バーベキューや花火など火を使わないでください。
- 7) ゴミは持ち帰りましょう。

◆アクセス◆

- 公共交通機関をご利用の場合■
小手指駅南口より西武バス「宮寺西」または「金子駅入口」行き乗車、約25分「荻原バス停」下車、徒歩約10分
- 案内所までの地図■
右のQRコードを読み込むと緑の森博物館のHPのアクセスページが開きます。(一部、携帯電話では確認できない機種があります)
- ご来館時のお願い■
駐車スペースに限りがありますので電車・バスをご利用ください。



発行年月 2016年10月
発行 さいたま緑の森博物館
住所 〒358-0014 埼玉県入間市宮寺889-1
TEL/FAX 04-2934-4396

開館時間 9:00~17:00 【入館無料】
休館日 月曜日、祝日の翌日(その日が祝日の場合をのぞく)
公式HP <http://saitama-midorinomori.jp/>
指定管理者 株式会社自然教育研究センター

さいたま緑の森博物館
ニュースレター
Saitama Midori-no-mori Nature Park

はくぶつかんだより 23

実りの秋から寒い冬へ...

段々と日が短くなり気温もさがって、秋から冬へ移り変わる季節になりました。草むらで賑やかだったコオロギやキリギリスたちの声も静まり、森にどんぐりが落ちる音や、はるばる越冬にやってきた冬鳥たちの小さな鳴き声が、耳に届くようになります。寒い朝には霜の多彩な形が見られるようになり、時には水鳥の池が凍ってしまうこともあります。

夏と比べると生きものの気配が薄く感じられるかもしれませんが、静けさの中に目をこらし、耳をすませば、色々な生きものの気配を感じられることでしょう。

今号のニュースレターは・・・

『みどり森の自然と昔の里山の暮らし 秋から初冬編』です。10月から12月にかけてのみどり森で見られる自然の移り変わりと、昭和30年代までの里山の暮らしをご紹介します。



みどり森 里山広辞苑

緑の森博物館がテーマとしている雑木林や湿地・文化などについて、毎号キーワードを挙げて紹介しています。今回は『みどり森周辺の年中行事 秋冬編』です。

その18 みどり森周辺の
年中行事 秋冬編

年の終わりも近づく晩秋・初冬の時期、昭和30年代までの埼玉県入間市・所沢市では養蚕やサツマイモ作りを終えて、麦作や雑木林の管理作業が始まる時期でした。色々な年中行事が密接に生活に関わっていた時代、この時期の代表的な行事をご紹介します。

【オカマ様】
食事のための大切な道具であった「ご飯を炊くお釜は「オカマさま」という名前の神様として大切にされてきました。毎年、全国の神様が

【エビス講】
1月と11月の20日はエビス様を神棚からおろしてちやぶ台に祀り、ご飯や尾頭付きの魚、うどんやそばを上げました。大漁・商売繁盛・田んぼ・山の神の顔をもつエビス様に商売繁盛や豊作を願いました。「お金に融通がきくように」とユズと菊を供えるとお金がもうかるといわれました。

参考文献：入間市史「民俗文化財編」